

# 資料編

## 1 施策の進捗状況調査結果

【評価基準】  
 A: 定常の実施  
 B: 一部着手  
 C: 未着手  
 F: 完了

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課	
					実績	評価	予定・進捗		
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	重点 市内全域の自然環境の実態把握と評価	市域全体での自然環境調査の検討・実施	調査方法等の検討・調査実施	-	自然環境調査部会をもとに市民調査員を公募し、調査を開始した。	A	自然環境調査部会による調査を引き続き実施する。	環境課
				景観上保全すべき場所の選定（「あきる野百景」の選定）	-	「あきる野百景」を決定し、公表した。	A	パンフレットの配布やパネル展示会の実施等により周知を図る。	環境課
				あきる野版RD種の選定	-	あきる野版RD種の選定には至っていない。	C	自然環境調査を実施し、あきる野版RD種の選定を検討する。	環境課
			自然の保全・管理活動の実践	適正評価及びモデル地区等の選定	-	モデル地区等の選定には至っていない。	C	自然環境調査の動向を見ながら、モデル地区の選定を検討する。	環境課
				モデル地区等における保全・管理活動の検討・実施	-	東京都里山保全地域である「横沢入」において、都や各種団体と連携し、保全活動を実施した。	B	平成21年度と同様である。	環境課
		一般 実効性の高い保全の仕組みづくり	緑地保全制度の実態の評価（評価の指針等の作成、実態評価）	継続	環境委員会は設置したが、具体的な検討には至っていない。	B	実施予定なし	環境課	
			実効性の高い保全制度の検討・確立	短期	郷土の恵みの森構想を策定し、森林については、健全な環境の保全と地域活性化を進めていくこととした。	A	郷土の恵みの森構想に基づき、施策を進めていく。	環境課 環境の森推進室 (H22新設)	
			財源の強化・拡充（みどりの基金等）	短中期	郷土の恵みの森構想の中で、基金の創設を検討した。	B	郷土の恵みの森づくり事業基金を創設する予定である。	環境課	
					実施していない	C			郷土の恵みの森づくり事業基金を創設し、ふるさとの緑地保全基金から振替え、基金を有効に活用する。

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課		
					実績	評価	予定・進捗			
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	一般	実効性の高い保全の仕組みづくり	ボランティアの育成・活用	中期	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課
						<p>森の特性を把握するための実踏調査を行い、その結果をもとに、大規模な森林が存在する町内会・自治会、大規模な森林所有者、森林保全活動に携わっている団体・個人、各種団体を対象にした交流会（意見交換会）や庁内プロジェクトチーム（あきる野市郷土の恵みの森構想策定プロジェクトチーム）での検討を重ね、森林の保全や活用の方向性、森づくりに向けた連携体制（ボランティア含む）などを示す「郷土の恵みの森構想」を策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林特性評価：7回（45地点）</li> <li>・交流会等：交流会（31回）、説明会（48回）</li> <li>・庁内プロジェクトチーム：6回</li> </ul>	A		各地区で実施する森づくりを支援する組織として、市内外の森づくりに興味がある人の参加も視野に入れた「森林サポートレンジャーあきる野」の組織化を図る。なお、当面の間は、職員ボランティアで構成し、組織の骨格づくりを進める。	
				実施していない	C	実施予定なし	環境課			
			多様な主体が連携した体制・仕組みづくり	長期	<p>森の特性を把握するための実踏調査を行い、その結果をもとに、大規模な森林が存在する町内会・自治会、大規模な森林所有者、森林保全活動に携わっている団体・個人、各種団体を対象にした交流会（意見交換会）や庁内プロジェクトチーム（あきる野市郷土の恵みの森構想策定プロジェクトチーム）での検討を重ね、森林の保全や活用の方向性、森づくりに向けた連携体制などを示す「郷土の恵みの森構想」を策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林特性評価：7回（45地点）</li> <li>・交流会等：交流会（31回）、説明会（48回）</li> <li>・庁内プロジェクトチーム：6回</li> </ul>	A	A	郷土の恵みの森構想の策定に伴い、森づくりの主力となる町内会・自治会をはじめ、森林・木材関係団体、さらに東京都、農林水産振興財団などに構想の内容について説明し、幅広い主体が森づくりに関わる連携体制を構築していく。	企画政策課 (H22から環境の森推進室)	
					緑地の環境保全、景観の保全のため、運草の種を農業者に配布した。	A		緑地の環境保全、景観の保全のため、運草の種を農業者に配布する。	農林課	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課		
					実績	評価	予定・進捗			
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	一般	市民の声がかけられる、環境に配慮したまちづくりの実現	開発計画への市民参加の仕組み化	中期	土地利用計画策定の際、委員の市民参加及びパブリックコメントの募集の実施。	A	土地利用計画策定の際、委員の市民参加及びパブリックコメントの募集の実施。	都市計画課	
				景観形成モデル地区の設定	中期	実施していない	C	C	実施予定なし	区画整理推進室
						具体的な検討箇所なし	C		具体的な検討箇所なし	都市計画課
				自然環境に適合した既存計画・用途区域等の見直し（都市計画線引き事業）	継続	数箇所の編入について、計画・東京都協議を行っている。なお、編入に当たっては、計画的な土地利用が必要であり、緑地の創出も行う。	B	数箇所の編入について、計画・東京都協議を行う。なお、編入に当たっては、計画的な土地利用が必要であり、緑地の創出も行う。	都市計画課	
				環境配慮型まちづくり方針・指針の策定（まちづくり条例の制定検討）	中期（長期）	実施していない	C	C	実施予定なし	区画整理推進室
						実施していない	C		実施予定なし	都市計画課
	地域別環境づくりの方針の活用（地区計画制度の活用）	継続	実施していない	C	A	実施予定なし	区画整理推進室			
	地区計画制度をすでに定めている地区については、地区の実情に即したまちづくりを進めている。また、新たな地区計画設定箇所の検討を行った。	A	地区計画制度をすでに定めている地区については、地区の実情に即したまちづくりを進めている。また、新たな地区計画設定箇所の検討を行う。	都市計画課						
	骨格を成す5つの環境軸の保全	一般	森林の保全と活用	森林の環境面からの機能評価	短中期	実施していない	C	C	実施予定なし	環境課
						実施していない	C		実施予定なし	農林課
				公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（モデル地区による「美林の里」づくり）	継続	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課
						戸倉地区において、スギを伐採し、広葉樹の植栽を行った。（花粉対策事業）	A		スギ・ヒノキを伐採し、広葉樹を植栽することで針広混交林化を図る。	農林課
森林整備計画等に基づく林業振興・森林保全策の推進				中期	実施している	A	施行計画の見直しを検討	農林課		
森林資源の需要の喚起（新たな資源価値の付加・間伐材等の積極的活用）				短中期	みなと区民の森づくり、新宿区民の森と協定を結び整備事業に取り組んだ。	A	サントリー天然水の森奥多摩と協定を結び整備事業を進める。整備箇所の調査、研究の計画案の立案・一部伐採予定。	農林課		
市民参加の森づくり事業の推進（ボランティアの育成・活用の仕組みづくり）	中期	郷土の恵みの森構想に基づく森林レンジャー、サポートレンジャーの設置準備を行った。	B	環境の森推進室の設置により、森林レンジャー、サポートレンジャーの設置をする。地域との連携づくりを行う。	農林課					

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成21年度			平成22年度	担当課
						実績		評価	予定・進捗	
自然環境	骨格を成す5つの環境軸の保全	一般	森林の保全と活用	活動資金の確保 (緑地保全基金の活用の検討(再掲))	短期	実施していない	C	C	実施予定なし	環境課
						実施していない	C		郷土の恵みの森づくり事業基金を創設し、ふるさとの緑地保全基金から振替え、基金を有効に活用する。	財政課
						実施していない	C		実施予定なし	農林課
				森林保全・活用のための整備の推進	継続	鍾乳洞線、南沢林道改良工事を実施した。	A	鍾乳洞線、南沢林道作業道・林道工事を実施する。	農林課	
		一般	里山の保全と活用	里山の現状調査の実施	短中期	横沢入については都の里山保全地域に指定され、都が調査を実施している。	B	平成21年度と同様である。	環境課	
				評価と利活用方針の検討	短中期	横沢入については都により検討されている。	B	平成21年度と同様である。	環境課	
				モデル地区での保全管理活動の実践	中期	横沢入では、各種団体を通じて実施されている。	B	平成21年度と同様である。	環境課	
				各地域での保全策の検討	中期	横沢入では管理計画が検討されている。	B	B	管理計画の検討を進める。	環境課
						実施していない	C		実施予定なし	農林課
				緑地保全基金の活用(再掲)	長期	実施していない	C	C	実施予定なし	環境課
						実施していない	C		郷土の恵みの森づくり事業基金を創設し、ふるさとの緑地保全基金から振替え、基金を有効に活用する。	財政課
				ボランティアの育成・活用(再掲)	中期	横沢入ではボランティアの活用により里山保全が図られている。	B	B	平成21年度と同様である。	環境課
						実施していない	C		実施予定なし	商工観光課
						郷土の恵みの森構想の策定に当たり、モデル事業として菅生若宮地区で実施した菅生若宮地区子ども体験塾事業里山探検隊において、しいたけのぼだ木づくりや竹細工などの体験学習を行うに当たり、地元町内会の皆さんにボランティアとして参加・支援をしていただき、地域における世代間交流が図れた。	B		地元町内会との協議を踏まえ、同事業を今後も継続していく。その際には、地元町内会の皆さんもボランティアスタッフとして参加していただく予定である。	教育委員会ほか (企画政策課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課				
					実績	評価	予定・進捗					
自然環境	骨格を成す5つの環境軸の保全	一般	里山の保全と活用	学校里山ゾーンの設定・学習体験活動の実施	中期	学校里山ゾーンの設定はしていないが、横沢入では増戸小児童による稲作体験が実施されている。	B	B	平成21年度と同様である。	環境課		
						郷土の恵みの森構想に基づき、市内小学生の参加による自然体験等を実施した。	B		郷土の恵みの森構想に基づき、近隣小・中学校の体験活動、栗原市交流事業での体験活動等を実施予定。	指導・学務課 (H22から指導室)		
		一般	秋留台地一帯の農地の保全と活用	農業振興計画との整合	短中期	・遊休農地を調査した。 ・農業後継者に農業技術研修への参加を啓発した。 ・獣害対策として、追い払い等実施した。	A	・遊休農地の調査を実施する。 ・獣害被害の防止対策の実施 ・秋川ファーマーズセンターの一部改修 ・畜舎の衛生管理を図る。 ・農業後継者に農業技術研修への参加を啓発していく。	農林課			
						農地の環境面からの機能のPR	短中期	実施していない	C	実施予定なし	環境課	
						中山間地域ふれあい農業の検討	中期	中山間地直接支払制度により農地の保全を図った。	A	農地の利用集積により農産物の生産・販売の促進を図る。	農林課	
						あきる野産の農産物の利用拡大の検討	中期	地元産の野菜を給食に使用した。	B	地産地消型農業や食育の推進を図る。	農林課	
						遊休農地の活用方策の検討・推進 (学校農園、市民農園など)	中期	実施していない	C	B	実施予定なし	指導・学務課 (H22から指導室)
								遊休農地の調査を実施した。	B		遊休農地の調査に基づき、一覧図を作成する。また、地主に対しての意向調査をしていく。	農林課
						人材育成と活用の仕組みづくり (農業委員会との連携・後継者の育成支援)	中期	農業委員会と認定農業者、農業後継者との合同視察研修や意見交換会を実施し交流を図った。	A	認定農業者や意欲ある農業者の支援を行う。	農林課	
		一般	秋川・平井川流域の総合的な保全	流域の一体的な保全（水と緑の環境保全）	短中期	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。	A	平成21年度と同様である。	環境課			
						秋川・平井川流域における環境保全の推進	短中期	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。	A	平成21年度と同様である。	環境課	
								実施していない	C	実施予定なし	生涯学習推進課	
						公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（再掲）	継続	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課
		戸倉地区において、スギを伐採し、広葉樹の植栽を行った。（花粉対策事業）	A	スギ・ヒノキを伐採し、広葉樹を植栽することで針広混交林化を図る。	農林課							

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課		
					実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格を成す5つの環境軸の保全	一般	秋川・平井川流域の総合的な保全	湧水の保全 (湧水調査、湧水のPR、雨水浸透の促進)	継続	環境調査を通じて湧水の状況を把握するとともに、清流保全条例等により、湧水の保全や雨水浸透の促進について啓発を図っている。	A	A	平成21年度と同様である。	環境課
						開発指導要綱に基づき、雨水浸透を指導している。	A		平成21年度と同様である。	都市計画課
				親しめる環境づくり(親水散策路の整備)	継続	二宮地区親水散策路については、平成20年度に完了している。	F	A	実施予定なし	区画整理推進室
						平成20年度に二宮地区親水散策路整備工事1.0箇所(4期目で完了)平成21年度は実施なし	A			
				崖線地区の保全 (市街化調整区域への指定変更、公有地化)	継続	保存緑地や公開緑地として保全できる箇所について、保全の支援等を行っている。	A	A	平成21年度と同様である。	環境課
						線引き変更の検討	C			
				市民意識の啓発	短中期	清流保全を呼びかける看板については設置済みである。また、清流保全協力員によるパトロールを実施している。	A	平成21年度と同様である。	環境課	
		モデル地区での水質浄化活動	短中期	実施していない	C	実施予定なし	環境課			
		一般	地質・地形の保存と活用	適正な評価の実施	短中期	実施していない	C	C	自然環境調査の進捗に合わせ、検討する。	環境課
						実施していない	C		実施予定なし	生涯学習推進課
				財源の確保	短期	実施していない	C	C	実施予定なし	環境課
						実施していない	C		実施予定なし	生涯学習推進課
				文化財の指定、開発の抑制	中期	都指定名勝「奥御岳景園地」、天然記念物「六枚屏風岩」、「大岳鍾乳洞」、「南沢鳥の礫石灰岩産地」を所有者の管理の下に保存、公開した。	A	A	都指定名勝「奥御岳景園地」、天然記念物「六枚屏風岩」、「大岳鍾乳洞」、「南沢鳥の礫石灰岩産地」を所有者の管理の下に保存、公開する。	生涯学習推進課
						実施していない	C		検討箇所なし	都市計画課ほか

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課			
					実績	評価	予定・進捗				
自然環境	骨格を成す5つの環境軸の保全	一般	地質・地形の保存と活用	郷土学習の支援（多様な連携づくり）	継続	実施していない	C	A	自然環境調査の進捗に合わせ、検討する。	環境課	
						公民館との事業連携を始め、横沢入里山保全地域運営協議会へのオブザーバー参加、自然環境調査会議への参画等を行った。	A		公民館との事業連携を始め、横沢入里山保全地域運営協議会へのオブザーバー参加、自然環境調査会議への参画等を行う。	生涯学習推進課	
				都民や市民への広報活動（文化財図書等の発行）	継続	自然環境調査において、地質・地形に関する項目を設け、調査を開始した。	B	A	自然環境調査において、引き続き、地質・地形に関する調査を実施する。	環境課	
						東京都文化財ウィークに参加するとともに、所有者に呼びかけ、南沢島の礫石灰層等の公開を支援し、特質ある地形・地質の周知を図った。また、天然記念物等を紹介した文化財マップを増刷発行し、三多摩郷土誌フェアにおいて、他の自然関連書籍と共に販売とPRを行った。さらに、「一房のぶどう」に天然記念物等を紹介し、その周知を図るとともに保全意識の啓発の機会とした。	A		東京都文化財ウィークに参加するとともに、所有者に呼びかけ、南沢島の礫石灰層等の公開を支援し、特質ある地形・地質の周知を図る。また、三多摩郷土誌フェアにおいて、自然関連書籍の販売とPRを行う。さらに、「一房のぶどう」に天然記念物等を紹介し、その周知を図るとともに保全意識の啓発の機会とする。	生涯学習推進課	
				文化財講座等の開催（市民カレッジ、市民解説員の活動推進）	継続	市民カレッジ等（主に市民解説員養成講座）・市内探訪（市民解説員による市内案内）を41回実施	A	A	市民カレッジ等（主に市民解説員養成講座）・市内探訪（市民解説員による市内案内）を41回実施（予定含む）	公民館	
						自然に関わる写真展や資料の展示を行い、地質、地形等の特性についての環境保全啓発の機会とした。	A		自然に関わる写真展や資料の展示を行い、地質、地形等の特性についての環境保全啓発の機会とする。	生涯学習推進課	
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	重点	公害の防止	事業所排水対策	（排水水質調査・是正指導）	-	A	平成21年度と同様である。	環境課		
				生活排水対策	下水道への接続啓発・普及	-	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課
							広報、接続依頼通知の発送、戸別訪問によるチラシの配布を行った。	A		平成21年度と同様である。	下水道課
					下水道の整備	-	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課
下水道の整備面積10ヘクタールを実施した。	A	下水道の整備面積約5ヘクタールを実施する予定である。	下水道課								

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課		
					実績	評価	予定・進捗			
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	重点	生活排水対策	合併処理浄化槽の設置補助（補助金）	-	合併処理浄化槽設置補助件数：7件 既存単独浄化槽撤去補助件数：1基 生活排水対策の一環として、国、都、市で下水道設置認可区域外における合併処理浄化槽設置に補助金を交付した。	A	A	制度等については、平成21年度と同様である。 補助件数（目安） 合併処理浄化槽設置補助件数：9基 既存単独浄化槽撤去補助件数：1基	環境課
				実施していない	C	実施予定なし	下水道課			
			下水道事業認可区域外の地域における汚水処理施設設置検討	-	市の生活排水対策として、事務事業にて浄化槽行政の下水道課への移管提言を行った。	C	C	市の生活排水対策として、事務事業にて浄化槽行政の下水道課への移管提言を行う。	環境課	
				実施していない	C	実施予定なし	下水道課			
		一般	環境に関する情報の収集・公開（広報等）	継続	国、都などの情報収集に努め、必要に応じて広報や市ホームページで情報を公開している。	A	平成21年度と同様である。	環境課		
			環境関連講座の開催	継続	実施していない	C	公民館と共催で講演会を実施する。	環境課		
			環境調査の実施（項目等の見直し・充実）	継続	これまでと同様に必要な環境調査を実施するとともに、環境の変化に合わせ、項目の見直し等を行っている。	A	平成21年度と同様である。	環境課		
			自動車による大気汚染の低減（自動車利用の抑制、エコドライブの推奨）	短期	エコドライブの推進をするパンフレットを常設し市民に啓蒙した。また、環境家計簿を作成し、産業祭での環境展において市民に配布するとともに、アンケート調査を通じて呼びかけを行った。	A	A	エコドライブ講習会を実施する。	環境課	
					CO <sub>2</sub> 排出及び大気汚染を促す庁用車使用の燃料について、平成20年度比で2.983%（8.88%）の削減が図られた。	A		公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、CO <sub>2</sub> の排出量の更なる削減を推進する。	総務課	
					実施していない	C		実施予定なし	地域防災課	



分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課	
					実績	評価	予定・進捗		
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	公共交通機関等の利用促進 (駐輪場の整備、るのバス等の充実)	長期	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課
					実施していない	C		実施予定なし	総務課
					乗降調査の実施や、循環バス等地域公共交通検討委員会で公共交通機関のあり方について検討を行った。	A		循環バス等地域公共交通検討委員会で、循環バス、過疎バスその他の交通機関の諸問題について総合的に検討を重ね、一定の結論を得たので報告し、検討する。	地域防災課
			低公害車の率先導入	継続	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課
					低公害車2台（プリウス）の購入（契約）を行う。	B		新たな購入予定なし	総務課
					「低排出ガス重量車」に認定されている車両を消防車として導入している。コミュニティバスに関しては、平成21年度は導入していない。	A		平成21年度と同様である。	地域防災課
			低公害車の普及・啓発（情報提供）	継続	東京都等を通して寄せられる低公害車の情報や融資制度等、必要に応じて情報提供を図った。	A	A	平成21年度と同様である。	環境課
					実施していない	C		実施予定なし	総務課
					実施していない	C		実施予定なし	地域防災課
			粉じん防止対策の充実	継続	粉じん苦情件数：0件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して粉じん発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して粉じん発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	環境課	
悪臭防止対策の充実	継続	悪臭苦情件数：2件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して悪臭発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して悪臭発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	環境課				

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課	
					実績	評価	予定・進捗		
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	公害の防止	家庭・事業所排水対策（普及・啓発の実施）	継続	水質汚濁（排水に係るもの）苦情件数：3件 合併処理浄化槽設置補助金の交付等を通じて適切な排水処理について啓発を図るとともに、苦情が発生した際には必要な指導を行い、改善を求めている。	A	合併処理浄化槽設置補助金の交付等を通じて適切な排水処理について啓発を図るとともに、苦情が発生した際には必要な指導を行い、改善を求めている。	環境課
				工場・事業場からの騒音防止対策の充実	短期	工場・事業場に関する騒音苦情件数：4件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して騒音発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して騒音発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	環境課
				道路交通騒音対策の実施（都等への要望）	短期	実施していない	C	未定	建設課
				近隣騒音防止対策の充実（啓発・指導）	短期	近接騒音苦情件数：10件 苦情が発生した際に、現地を確認のうえ、必要な指導を行っている。	A	苦情が発生した際に、現地を確認のうえ、必要な指導を行う。	環境課
				航空騒音対策の実施	継続	苦情件数：3件 苦情が寄せられた際に騒音発生の時間帯等を把握し、横田防衛事務所を確認するとともに、配慮を要請している。 未然防止措置として、市の行事等を事前に横田防衛事務所に伝え、訓練計画策定の際に配慮を要請している。	A	苦情件数：0件（これまで） 苦情が寄せられた際に騒音発生の時間帯等を把握し、横田防衛事務所を確認するとともに、配慮を要請する。また、未然防止措置として、市の行事等を事前に横田防衛事務所に伝え、訓練計画策定の際に配慮を要請する。	企画政策課
				有害化学物質に係る情報の充実（情報提供）	継続	東京都等を通じて寄せられる有害化学物質の情報等について、必要に応じて周知を図っている。	A	平成21年度と同様である。	環境課
				有害化学物質の使用の適正化の促進（届出に係る指導）	継続	有害化学物質使用届出件数：11件 有害化学物質を使用している事業者に対し、毎年、使用量報告を提出してもらい、使用の適正化を推進している。	A	有害化学物質使用届出件数：11件（目安） 平成21年度と同様である。	環境課
振動防止対策の充実（苦情に伴う指導）	継続	振動苦情件数：0件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して振動発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して振動発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	環境課				

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課		
					実績	評価	予定・進捗			
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	公害の防止	土壌汚染防止対策の実施（指導や調査の奨励）	継続	土壌汚染調査結果報告書提出件数：3件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、有害化学物質を取り扱っていた工場等を除却する際に、土壌汚染調査の実施及び報告の提出等を指導している。	A	土壌汚染調査結果報告書提出件数：1件（目安） 都条例である「環境確保条例」等に基づき、有害化学物質を取り扱っていた工場等を除却する際に、土壌汚染調査の実施及び報告の提出等を指導する。	環境課	
				家畜のふん尿等の衛生管理の推進（指導、巡回・指導、排せつ物処理施設の整備）	継続	・畜産農家の巡回指導を実施 ・畜産衛生管理に対する補助金の支出	A	・畜産農家の巡回指導を実施 ・畜産衛生管理に対する支援	農林課	
				地下水保全対策の充実（揚水規制）	継続	地下水揚水量報告書提出件数：15件 一定規模以上の揚水施設を設置する際は届出書を提出してもらうとともに、毎年、揚水量報告書を提出してもらい、適正な地下水の揚水に努めてもらっている。	A	地下水揚水量報告書提出件数：16件（目安） 一定規模以上の揚水施設を設置する際は届出書を提出してもらうとともに、毎年、揚水量報告書を提出してもらい、適正な地下水の揚水に努めてもらう。	A	環境課
						かん水施設管理組合が維持管理している。	A			かん水施設管理組合が維持管理している。
				光害防止対策の研究	継続	光害に対する苦情件数：0件 現在のところ、光害に対する苦情は寄せられていないが、都のガイドラインの内容の把握など、研究に努めている。	A	都のガイドラインの内容の把握など、研究に努める。	環境課	
		重点	循環型社会の構築	循環型社会構築の推進	廃棄物減量等推進審議会の開催	-	諮問する案件がなかったため開催なし	A	必要に応じて開催する。	環境課
					「ごみ会議」の運営・推進	-	全体会議開催10回 情報誌「へらすぞう」発行2回 生ごみ処理講習会6回開催	A	廃棄物減量等推進員に委嘱し、平成21年度と同様に活動する。	環境課
					ごみ減量・リサイクル意識の啓発（情報誌「へらすぞう」の発行等）	-	ごみの減量、資源化をはじめとする環境問題の啓発を目的にリサイクルフェアを年2回実施。フリーマーケット、不要家具等の再利用コーナー、修理やさんコーナー（玩具・包丁砥ぎ）秋には、環境問題啓発ポスター展示を実施。情報誌「へらすぞう」発行 2回	A	平成21年度と同様である。	環境課

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課		
					実績	評価	予定・進捗			
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	循環型社会の構築	グリーン購入の推進 (考え方や商品等の紹介・PR)	短期	実施していない	C	検討する。	環境課	
				省資源(レジ袋削減・簡易包装等)・ロングライフ(長寿命)化の推進(情報提供・意識啓発)	短期	広報や「へらすそう」などで啓蒙した。また、市内大手スーパーの代表者と意見交換を実施した。	A	方策を検討する。	環境課	
				エコショップ認定制度の検討	中期	実施していない	C	C	実施予定なし	環境課
						実施していない	C		実施予定なし	商工観光課
				リサイクルフェアの実施	継続	ごみの減量、資源化をはじめとする環境問題の啓発を目的に年2回実施。フリーマーケット、不要家具等の再利用コーナー、修理やさんコーナー(玩具・包丁砥ぎ)、秋には、環境問題啓発ポスター展示等を実施	A	平成21年度と同様である。	環境課	
				廃食油石けんづくりの普及	継続	廃食油を利用した石けんづくりは、現在のところ3団体(年間12回)が実施しており、秋のリサイクルフェアで来場者に配布し、普及を図っている。	A	平成21年度と同様である。	環境課	
				生ごみリサイクルの促進 (生ごみ処理機導入補助・EM菌バケツ貸出)	継続	生ごみ堆肥処理機器購入費の補助 ・電動式生ごみ処理機 20基 ・コンポスト 21基 EM菌バケツ貸与 104世帯 187個 段ボール方式生ごみ処理講習会の実施	A	平成21年度と同様である。	環境課	
				省資源型経営の推奨(国や都への働きかけ)	長期	実施していない	C	実施予定なし	環境課	
				ごみの戸別収集・有料化	継続	平成16年4月からごみの減量、分別の徹底を図り、排出者責任を明確にするため実施。収集量24,050トン、前年比986トン(3.9%)の減量	A	平成21年度と同様である。	環境課	
資源集団回収の実施	継続	ごみの減量、資源化を推進し資源循環型社会の推進を図る。 107団体 回収量2,042トン(前年度比4団体増、29トン減)	A	平成21年度と同様である。	環境課					

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課			
					実績	評価	予定・進捗				
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	循環型社会の構築	ペットボトル等拠点回収実施	継続	毎週2回拠点回収する。 回収箇所113箇所 回収日数103日 回収量138トン（前年度比21トン増）	A	平成21年度と同様である。	環境課		
				新たなリサイクルシステムの検討	中期	実施していない	C	実施予定なし	環境課		
				落ち葉・剪定枝等のリサイクル方法の検討	長期	実施していない	C	落葉の堆肥化について検討する。	環境課		
				環境低負荷型の収集の実現 （効率的な収集ルートを選定、収集車の低公害化）	継続	委託事業により、環境低負荷型の収集を行った。	A	平成21年度と同様である。	環境課		
				ごみ焼却に伴う環境負荷の低減 （ダイオキシン類の発生抑制等）	継続	市のごみは、西秋川衛生組合の焼却場で焼却処理しているが、環境基準に対応するよう施設の改善をしている。	A	平成21年度と同様である。	環境課		
				清掃工場の適正管理	継続	市のごみは、西秋川衛生組合の処理場で全て処理しているが、環境基準に対応するよう施設の改善をしている。	A	平成21年度と同様である。	環境課		
	身近な自然を生かしたまちの創造	重点	市街地における緑の確保	地元野菜の普及・活用 （食育）	施設園芸（温室等）化	-	農家からの要望なし。 3直売所の農産物売上調査	A	農家からの要望調査をする。 3直売所の農産物売上を調査する。	農林課	
					学校給食等への供給検討・実施	-	試験的に、市立保育園に野菜を供給した。	B	試験的に、市立保育園に野菜を供給する。	農林課	
				農業の振興・支援	後継者の育成支援 （助成等）	-	・補助金の支出 ・農業機械工場の視察 ・野菜工場の視察 ・農業委員との意見交換	A	補助金の支援と先進地視察	農林課	
					獣害防止対策の実施（被害状況のモニタリング、電気柵設置）	-	・有害鳥獣捕獲の実施 ・電気柵の設置	A	獣害防止対策の実施（被害状況のモニタリング、電気柵設置）	農林課	
				農地の適正管理と活用	生産緑地制度の推進・管理・追加指定（希望者把握・協議）	-	追加指定を行なった。	A	A	実施予定なし	都市計画課
					生産緑地制度の推進・管理・追加指定（希望者把握・協議）	-	農地パトロールを実施し、不耕作地の指導をした。	A		農地パトロールを実施	農林課
					市民農園制度の活用 ・取組方策の検討（遊休農地の活用ほか） ・市民農園の希望把握・貸出	-	市民農園利用者に農業講習会を年2回実施した。	A	新たな市民農園の開設 市民農園利用者に農業講習会の実施	農林課	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課			
					実績	評価	予定・進捗				
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	一般	市街地における緑の確保	公園の整備の推進	継続	区画整理事業では、実施していない。	C	A	実施予定なし	区画整理推進室	
						平成20年度に二宮地区親水散策路整備工事1.0箇所（4期目で完了）平成21年度は実施なし	A		実施予定なし	建設課	
						平成21年度は実績なし	A		区画整理事業や開発等により公園を確保する。	環境課（H22から管理課）	
			市街地における緑の確保	緑化の推進（開発時の緑化指導）	継続	ふるさとの緑地保全条例に基づき緑化指導を行う。	A	A	平成21年度と同様である。	環境課	
						開発指導要綱に基づき指導を行っている。	A		平成21年度と同様である。	都市計画課	
				緑化の効果のPR	中期	実施していない	C	実施予定なし	環境課		
				保存樹木・保存緑地の指定	継続	保存樹木の指定を推進する。	A	平成21年度と同様である。	環境課		
		みどりの大切さのPR	継続	具体的な取組みには至っていない。	C	平成21年度と同様である。	環境課				
		重点	魅力ある川づくり	市民参加による清流の保全	清流保全協力員活動（看板の設置等）	-	清流保全条例に基づき設置した清流保全協力員の協力のもと、清流保全看板の設置、ホタルの生息状況調査等を実施している。	A	A	平成21年度と同様である。	環境課
						-	実施していない	C		実施予定なし	商工観光課
					市民参加型イベントの検討・実施	-	自然環境調査において、市民参加型の水生生物調査を行った。	A	A	平成21年度と同様である。	環境課
						-	実施していない	C		実施予定なし	商工観光課
					活動の公表の検討	-	実施していない	C	C	実施予定なし	環境課
						-	実施していない	C		実施予定なし	商工観光課
					河川景観の整備	-	河川管理者に依頼し、草刈等を行った。	A	A	平成21年度と同様である。	環境課
						-	実施していない	C		実施予定なし	商工観光課
川遊びのマナー等の向上（マナーの周知・清掃活動・不法投棄防止）	-				ホームページを活用し、マナー向上の啓発を行っている。	A	A	平成21年度と同様である。	環境課		
	-	観光協会が管理運営する3か所のバーベキュー場のうち、1か所においては直火でなく炉を使用している。他の2か所についても一部炉の使用を開始し、今後、段階的に直火を禁止していく。	A	平成21年度と同様である。	商工観光課						

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課		
					実績	評価	予定・進捗			
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	重点	ホタルが見られる場所の調査	-	清流保全協力員の協力のもと、ホタルの生息状況調査を実施した。	A	A	平成21年度の調査結果をもとに追跡調査を実施する。	環境課	
					実施していない	C		実施予定なし	建設課	
			ホタルが棲める川づくり	-	ホタルの里づくり事業として、ホタルの養殖施設の管理を1団体に委託しているとともに、ホタルの里づくり事業補助金を2地区に交付している。	A	A	平成21年度と同様である。補助金交付団体が2団体の予定。	環境課	
						実施していない			C	実施予定なし
			子どもの水辺事業の推進	-		実施していない	C	C	実施予定なし	環境課
						実施していない	C		実施予定なし	建設課
						平井川こどもの水辺協議会への参画 ・会議の開催支援と出席（1回6月8日） ・川ガキ新聞、募集チラシ等の配布協力、カレンダーの掲示	A		会議開催支援と出席 7月5日、川ガキ新聞、募集チラシの配布協力	生涯学習推進課
		親水散策路の整備の推進（再掲）	継続	二宮地区親水散策路については、平成20年度に完了している。 平成20年度に二宮地区親水散策路整備工事1.0箇所（4期目で完了）平成21年度は実施なし	F	A	実施予定なし	区画整理推進室		
					A			建設課		
		あきる野百景の選定	短中期		あきる野百景を決定した。	F	F	環境課		
					実施していない	C		商工観光課		
					実施していない	C		都市計画課		
		あきる野百景の保全・活用の検討	長期		あきる野百景パンフレットを作成した。	B	B	あきる野百景パンフレットの配布を開始する。また、パネル展示会を開催する。（現在2回実施）	環境課	
					実施していない	C		実施予定なし	商工観光課	
					実施していない	C		実施予定なし	都市計画課	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課			
					実績	評価	予定・進捗				
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	一般	魅力ある川づくり	散策路・遊歩道の整備（親水散策路の整備：再掲）	継続	二宮地区親水散策路については、平成20年度に完了している。	F	A		区画整理推進室	
						平成20年度に二宮地区親水散策路整備工事1.0箇所（4期目で完了）平成21年度は実施なし	A		実施予定なし	建設課	
						緊急雇用創出事業において、市内の散策ルート全11コースの調査及び整備を行った。	A		倒木や雑草が繁茂しているなど、通行に支障をきたしている箇所について、除去等の対応を図る。	商工観光課	
		水と緑のマップの充実	長期	実施していない	C	実施予定なし	環境課				
	美しく清潔なまちの形成	重点	景観の整備	良好な街並みづくり（地区計画）	（区画整理事業区域・線引き変更箇所）	-	・まちづくり基本計画の決定 ・地区界測量の実施 ・不動産鑑定評価の実施 ・交通量調査の実施 ・まちづくり協議会の開催（勉強会含む計8回） ・地権者への意見交換会の開催（計1回）	A	A	・都市計画決定の手続き ・まちづくり協議会の開催（勉強会含む計6回予定） ・地権者説明会の開催	区画整理推進室
							実施していない	C		線引き変更に伴い検討する。	都市計画課
				商店街の景観整備	（装飾灯の設置）	-	実施していない	C	実施予定なし	商工観光課	
				歩きやすいみちづくり	（散策路、遊歩道の整備）	-	平成20年度に二宮地区親水散策路整備工事1.0箇所（4期目で完了）平成21年度は実施なし	A	A	実施予定なし	建設課
							緊急雇用創出事業において、市内の散策ルート全11コースの調査及び整備を行った。	A		倒木や雑草が繁茂しているなど、通行に支障をきたしている箇所について、除去等の対応を図る。	商工観光課
				良好な街並みづくり（地区計画の活用）		継続	地区計画に基づき、地区の特性にあった良好な環境のまちづくりを進めている。	A	地区計画に基づき、地区の特性にあった良好な環境のまちづくりを進める。	都市計画課	
		一般	景観保全・形成の方向性の決定（都市景観ガイドラインの策定等）	超長期	実施していない	C	C	実施予定なし	環境課		
					実施していない	C		未定	都市計画課		
					市民参加型のまちづくりに向けた意識啓発（a.マナーやルール、b.まちづくり教育・組織づくり）	a.短期 b.超長期	実施していない	C	C	実施予定なし	環境課
							実施していない	C		実施予定なし	建設課



分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課			
					実績	評価	予定・進捗				
生活環境	美しく清潔なまちの形成	一般	景観の整備	まちかど広場等の整備	継続	二宮地区については、平成20年度に完了している。	F	A	実施予定なし	区画整理推進室	
						平成20年度に二宮地区親水散策路整備工事1.0箇所（4期目で完了）平成21年度は実施なし	A			建設課	
				買い物マップの作成	短期	実施していない	C	実施予定なし	商工観光課		
				観光スポットのPR	中期	ホームページでの情報発信やパンフレット設置により、PRを行っている。	A	平成21年度と同様であるが、携帯サイトからの情報発信も予定している。	商工観光課		
				不適正な屋外広告物（看板等）の指導、撤去	継続	1,009枚撤去した。	A	1,100枚の撤去を予定している。	建設課 (H22から管理課)		
				電線の地中化の検討	短期	実施していない	C	C	実施予定なし	建設課 (H22から管理課)	
		実施していない	C			実施予定なし	区画整理推進室				
		重点	景観の整備 清潔なまちづくり	たばこ・ごみのポイ捨て防止	意識啓発	-	-	産業祭でたばこのマナー向上の普及を行っている。	B	平成21年度と同様である。	環境課
				一斉清掃の実施	-	-	-	年2回、春、秋に実施 春15,336人参加 31.9トン収集 秋15,686人参加 26.5トン収集	A	平成21年度と同様である。	環境課
				ボランティア活動の推進	(ボランティア袋の配布、収集ごみ等の回収)	-	-	配布箇所 11施設 配布枚数 ・可燃大 1,254組 ・可燃小 165組 ・不燃大 627組 ・不燃小 119組	A	平成21年度と同様である。	環境課
		一般	清潔なまちづくり	ポイ捨て防止条例の研究		中期	現在のところ、ポイ捨て防止条例について、他市の取組の情報収集及び研究を行っている。	B	平成21年度と同様である。	環境課	
				不法投棄防止対策の充実		短期	あき地への不法投棄防止対策として、適正な管理を周知した。	A	平成21年度と同様である。	環境課	
				ごみ会議の開催		継続	全体会議を10回開催し、ごみ減量・資源化の方策を検討した。その他、情報誌「へらすぞう」の発行や生ごみ減量・堆肥化講習会を行った。	A	平成22年度から、廃棄物減量等推進員になっていただき、今までの活動を継続する。	環境課	
				道路・公園・公共建物等の適正管理の実施		継続	一斉清掃の実施や、ボランティアとして清掃する人にボランティア袋を配布した。	A	A	平成21年度と同様である。	環境課
		従来どおりの管理を実施。	A				従来どおりの管理を実施。	建設課 管理課			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課		
					実績	評価	予定・進捗			
生活環境	美しく清潔なまちの形成	一般	清潔なまちづくり	空き地の適正管理	継続	あき地の適正管理に対する苦情件数：23件 あき地の管理適正化に関する条例に基づき、管理のされていないあき地の所有者に対し、草刈り等を実施するよう指導している。	A	あき地の管理適正化に関する条例に基づき、管理のされていないあき地の所有者に対し、草刈り等を実施するよう指導する。	環境課	
				ペットの飼い方等の意識啓発	継続	広報紙等によりペットの飼い方等の啓発活動を実施した。	A	平成21年度と同様である。	健康課	
				苦情対策	継続	ペットに関する苦情件数：1件 ペットに関する苦情については、東京都や健康課と連携し対応しているところであり、環境衛生の観点から、可能な範囲で、飼い主に対して適正な飼育の依頼をしている。	A	A	ペットに関する苦情については、東京都や健康課と連携し対応しているところであり、環境衛生の観点から、可能な範囲で、飼い主に対して適正な飼育の依頼をする。	環境課
						(犬のフン、鳴き声の苦情)苦情者等に啓発用注意看板(小看板)を配布、また、広報紙等によりマナーを守るよう啓発活動を実施した。	A		平成21年度と同様である。	健康課
エネルギー環境	省エネルギーの推進	重点	市全体での省エネルギーの推進	省エネ教育の推進	-	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課
						道徳授業地区公開講座として環境関係の授業を、延べ42回行った。	A		道徳授業地区公開講座として環境関係の授業を、延べ40回ほど行う予定である。	指導・学務課(H22から指導室)
				事業所への働きかけ	-	実施していない	C	C	商工会等を通じて、省エネの推進の働きかけを行う。	環境課
						実施していない	C		実施していない	指導・学務課(H22から指導室)
		制度の検討	-	-	国や都の制度等について研究を行った。	B	引き続き研究を行っていく。	環境課		
		一般	市全体での省エネルギーの推進	市全域のエネルギー使用量の把握	短期	温室効果ガス排出量は把握することが可能になった。	A	平成21年度と同様である。	環境課	
		重点	自動車対策	エコドライブの普及	各種支援制度の利用等の検討	-	本市に適する支援制度について、情報収集・検討を行った。	B	エコドライブ講習会を実施する。	環境課
					啓発の実施	-	産業祭における環境展及びエコフェアにおいて、環境家計簿やパンフレットの配布を行い、啓発を行った。	A	エコドライブ講習会を実施する。	環境課

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課		
					実績	評価	予定・進捗			
エネルギー環境	省エネルギーの推進	重点	自転車利用の促進	アンケート調査の実施	-	平成19年度実施済み	F	C		環境課
						実施していない	C		実施予定なし	建設課 (H22から管理課)
						実施していない	C		実施予定なし	地域防災課
			施設整備の実施	-	実施していない	C	B	実施予定なし	環境課	
					平成18年度に武蔵増戸駅の駐輪場の整備を行ったが、その後取組は行っていない。	B		実施予定なし	建設課	
					実施していない	C		実施予定なし	地域防災課	
			自転車優遇方策の検討	-	実施していない	C	C	実施予定なし	環境課	
					実施していない	C		実施予定なし	建設課 (H22から管理課)	
					実施していない	C		実施予定なし	地域防災課	
		一般	自動車対策	「車に乗らない日」の普及・啓発		短期	実施していない	C	実施予定なし	環境課
				公共交通機関の利用促進	中期	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課
						会議回数13回 JR五日市線複線化促進協議会、路線バス等公共交通連絡会等の活動を通じ、JR五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組んでいる。	A		会議回数13回 JR五日市線複線化促進協議会、路線バス等公共交通連絡会等の活動を通じ、JR五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組んでいる。	企画政策課
				自転車専用のインフラ整備	長期	実施していない	C	実施予定なし	建設課	
				エコドライブの実践	短期	エコ活動により、取組みを進めている。	A	エコドライブ講習会を開催し、更にエコドライブの取組みへの呼びかけを行う。	環境課	
				低公害車の率先導入（再掲）	継続	実施していない	C	B	実施予定なし	環境課
						低公害車2台（プリウス）購入（契約）実施。	B		新たな購入予定なし	総務課
低公害車の普及・啓発（再掲）	継続	東京都等を通じて寄せられる低公害車の情報や融資制度等、必要に応じて情報提供を図っている。	B	平成21年度と同様である。	環境課					
燃料電池車両の開発動向に対応した施策の実施（エコエネルギーステーションの設置研究ほか）	中期	実施していない	C	C	実施予定なし	環境課				
		情報収集に努めている。	C		情報収集に努める。	企画政策課				

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課		
					実績	評価	予定・進捗			
エネルギー環境	省エネルギーの推進	重点	省エネルギー対策の普及・啓発	情報提供と協力呼びかけ	-	産業祭における環境展やエコフェアにおいて省エネの啓発を行った。	B	平成21年度と同様である。	環境課	
				セミナーの開催	-	実施していない	C	実施予定なし	環境課	
			省エネ型生活10か条の普及	-	省エネ型生活10か条を推進するため、環境家計簿を作成し、産業祭における環境展、エコフェアで配布、周知した。また、環境展では、「省エネ10か条アンケート」を実施した。	A	引き続き普及啓発を図る。	環境課		
			環境家計簿によるエネルギー管理	環境家計簿（家庭版ISO）等の普及	-	省エネ型生活10か条を発展させ、環境家計簿を作成し、産業祭における環境展、エコフェアで配布、周知した。	A	引き続き普及啓発を図る。	環境課	
				省エネモニター制度の実施	-	産業祭における環境展、エコフェア、広報、ホームページで、モニターの募集を行った。	A	新エネルギー・省エネルギー機器設置補助金の受給者をモニターに登録する。	環境課	
			一般	家庭での省エネルギー生活の普及・啓発（エコハウス等の情報提供）	短期	パンフレット等を設置・配布し、周知を行った。	B	平成21年度と同様である。	環境課	
		事業者への省エネルギー対策の普及・啓発		短期	パンフレット等を設置・配布し、周知を行った。	B	平成21年度と同様である。	環境課		
		事業所のエネルギーマネジメントの普及		中期	実施していない	C	実施予定なし	環境課		
		中小事業所や商店に対する普及・啓発		中期	産業祭において、出店事業者に対し、東京都が行う中小規模事業者向け無料省エネ診断のパンフレットを配布した。	B	従来の啓発に加え、商工会等への働きかけを行う。	環境課		
		公共施設での環境マネジメントシステムの認証取得拡大		長期	実施していない	C	A	A	実施予定なし	環境課
					平成21年10月にISO14001から市独自の環境マネジメントシステム（エコ活動）の取組に変更した。 庁舎の電気使用量：1,371,583kwh 前年度比21,061kwh（1.5%）の削減が図られた。	A			公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、電気使用量の削減を推進する。	総務課

分野	方針	施策	関連する施策・事業		実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課		
						実績	評価	予定・進捗			
エネルギー環境	新エネルギーの導入	重点	新エネルギー技術の活用	木質バイオマスの導入	温浴施設への導入	-	本件については、企画政策部としての直接的関わりはなくなっている。	F	-	企画政策課	
					炭等の利用促進	-	本件については、企画政策部としての直接的関わりはなくなっている。	-	C	-	企画政策課
				実施していない		C	実施予定なし	商工観光課			
				普及啓発・環境教育の実施		温浴施設での見学受け入れ	-	本件については、企画政策部としての直接的関わりはなくなっている。	-	A	-
					受入件数：20件 視察等に適切対応を行った。		A	視察等の受け入れをする。	商工観光課		
					見学会、教育プログラムの実施	-	実施していない	C	実施予定なし	環境課	
				実施していない			-	C	-	企画政策課	
				実施していない			C		実施予定なし	商工観光課	
				一般	新エネルギーに関する情報の入手と普及・啓発	家庭での新エネルギーの導入促進	短期	パンフレット等を設置・配布し、周知を行った。	B	住宅の新エネルギー・省エネルギー機器の設置に対し、補助金を交付する。	環境課
						事業所での新エネルギーの導入促進	短期	パンフレット等を設置・配布し、周知を行った。	B	平成21年度と同様である。	環境課
		新エネルギーに関する情報の入手と普及・啓発	短期			定常的に、パンフレット等を設置・配布し、周知を行った。また、産業祭における環境展で、パンフレット配布を行った。	B	平成21年度と同様である。	環境課		
		一般	リサイクル型エネルギーの利用	焼却炉の効率的な稼働の促進	短期	効率的な稼働に努めている。	A	平成21年度と同様である。	環境課		
				ごみ焼却余熱の利用	中期	実施していない	C	B	実施予定なし	環境課	
		職員の手洗い用の温水に利用している。	B			平成21年度と同様である。	西秋川衛生組合				

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課		
					実績	評価	予定・進捗			
エネルギー環境	新エネルギーの導入	一般	最新動向の把握及び調査研究	新たな新エネルギー技術の導入検討	中期	バイオマスエネルギーの推進の研究	C	C	平成21年度と同様である。	環境課
						新たなエネルギーの導入がなく、特記事項として仕様書に盛り込む措置なし。	C		新たなエネルギー技術導入の際、仕様書に盛り込む等の措置をとる。	契約管財課
						実施していない	C		実施予定なし	施設営繕課
	森林・緑地の拡大によるCO <sub>2</sub> の吸収	一般	森林の保全	森林のCO <sub>2</sub> 吸収量に関する普及・啓発	短中期	実施していない	C	C	実施予定なし	環境課
						実施していない	C		実施予定なし	農林課
						実施していない	C		実施予定なし	指導・学務課 (H22から指導室)
				森林等の適正管理・保全の促進（再掲）	継続	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課
						森林再生事業（間伐）を実施した。	A		森林再生事業（間伐）を実施する。	農林課
				総合的な森林保全・再生策の検討（再掲）	中期	実施していない	C	B	実施予定なし	環境課
						実施していない	C		実施予定なし	商工観光課
						みなと区民の森づくり、新宿区民の森と協定後の整備事業	B		みなと区民の森づくり、新宿区民の森、サントリー天然水の森奥多摩と協定後の整備事業推進	農林課
				地域林業の活性化（再掲）	短中期	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課
						実施していない	C		実施予定なし	商工観光課
						林務事務全般	A		平成21年度と同様である。	農林課
				材木生産の合理化とブランドイメージの向上	中期	実施していない	C	B	実施予定なし	環境課
						実施していない	C		実施予定なし	商工観光課
						多摩産材の積極的な採用に向けてのPRの実施	B		多摩産材の採用に向けて港区と協議の実施	農林課
				木材加工産業の育成	中期	実施していない	C	B	実施予定なし	環境課
実施していない	C	実施予定なし	商工観光課							
秋川木材協同組合、あきがわ木工連への支援	B	平成21年度と同様である。	農林課							

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課		
					実績	評価	予定・進捗			
エネルギー環境	森林・緑地の拡大によるCO <sub>2</sub> の吸収	一般	緑化の推進	街路樹、公園樹木の拡大	継続	公園に30本植樹した。	A	A	公園に50本植樹予定。	環境課 (H22から管理課)
						街路樹の植樹はしていない。	C		実施予定なし	建設課
				家庭等での植樹の推進（再掲）	中期	実施していない	C	実施予定なし	環境課	
				グリーンリサイクル（落葉・剪定枝）の推進（再掲）	中期	公共事業で排出される落葉、剪定枝の一部は民間業者によりチップ、堆肥化されている。	B	平成21年度までの取組に加え、落葉の堆肥化について検討する。	環境課	
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	一般	情報の共有	「環境白書」の作成・公表	短期	平成20年度環境白書を発行、ホームページで公表した。	A	平成21年度環境白書を発行する。	環境課	
				環境に関する情報の収集・公開	継続	国、都などの情報収集に努め、必要に応じて広報やホームページで情報を公開している。	A	A	平成21年度と同様である。	環境課
						環境に関する図書を157冊購入し、貸出しを行った。	A		環境に関する図書を120冊購入予定	図書館
				研究・活動実績等の発表の場づくり	中期	実施していない	C	実施予定なし	環境課	
				環境情報サイトの立ち上げ	中期	実施していない	C	実施予定なし	環境課	
				環境情報コーナー等の機能整備の検討	長期	実施していない	C	実施予定なし	環境課	
		一般	環境教育の推進	環境セミナー・講座等の充実	継続	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課
						6月を「CO <sub>2</sub> 削減アクション月間」として定め、全小・中学生が1週間の行動をCO <sub>2</sub> 削減チェックシートに記入し、CO <sub>2</sub> の削減に取り組んだ。	A		6月を「CO <sub>2</sub> 削減アクション月間」として定め、全小・中学生にCO <sub>2</sub> 削減チェックシートの記入を実施する。	指導・学務課 (H22から指導室)
						放課後子ども教室において、自然観察等（9月5日平井川で実施）の事業を取り入れ、身近な環境保全の機会を提供した。生涯学習コーディネーターの会と協働で夏休み親子自然観察会（8月21日小峰ビジターセンターで実施）を開催。	A		前年に引き続き放課後子ども教室のほか、生涯学習コーディネーターの会と協働で、自然観察教室を実施し、身近な環境保全の機会を提供する。	生涯学習推進課
				出前講座等の開催	中期	実施していない	C	C	実施予定なし	環境課
						実施していない	C		実施予定なし	指導・学務課 (H22から指導室)
						実施していない	C		実施予定なし	生涯学習推進課

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成21年度		平成22年度	担当課			
					実績	評価	予定・進捗				
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	一般	環境教育の推進	環境教育・環境学習の場の充実	中期	自然環境調査において観察会を実施した。	A	A	自然環境調査において観察会を予定している。	環境課	
						「CO <sub>2</sub> 削減アクション月間」を通して、環境教育の充実に努めた。	B		地球環境の保全について考え、行動できるよう環境教育を推進する。		指導・学務課 (H22から指導室)
						実施していない	C		実施予定なし		生涯学習推進課
			地域の人材活用制度の構築	中期	実施していない	C	B	実施予定なし	環境課		
					実施していない	C		実施予定なし	指導・学務課 (H22から指導室)		
					生涯学習支援者バンク登録者名簿を発行し、人材活用を図った。	B		生涯学習コーディネーターの会との協働により、登録者を活用した講座を開催する。	生涯学習推進課		
		一般	環境パートナーシップの形成	協働・団体等のネットワーク化	短期	実施していない	C	実施予定なし	環境課		
				市民・事業者・市の協働事業等の推進	短期	実施していない	C	実施予定なし	環境課		
				問題提起・政策提案等ができる仕組みの検討	長期	環境白書作成時の点検・評価の際に、意見等の収集を行った。	B	平成21年度と同様である。	環境課		
		一般	様々な仕組みの検討	財源の確保の検討	中長期	実施していない	C	実施予定なし	環境課		
				ボランティアの活用の仕組みづくり	長期	自然環境調査を市民ボランティアで実施した。	B	平成21年度と同様である。	環境課		
				点検・評価への参加の充実	中期	平成20年度の施策進捗状況等をもとに環境委員会で点検・評価を行った。	A	平成21年度と同様である。	環境課		
				「(仮)あきる野市環境委員会」の設置	短期	平成19年9月設置済み	F		環境課		
				家庭版・学校版ISO等の仕組み検討	中期	実施していない	C	実施予定なし	環境課		
				事業者のマネジメントシステム導入支援	中期	実施していない	C	実施予定なし	環境課		
				経済的手法の研究	長期	実施していない	C	実施予定なし	環境課		